

令和5年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第6回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター研究員 杉山 拓次

実施日：2023年9月9日（土）9:00～13:00

参加者：5名（学生：1名 外部：1名（子ども2名） 教職員：杉山、阪本）

■実施場所：奈良公園 春日大社境内飛火野

■第6回 奈良公園の自然

2023年9月9日（土）9:00～12:40

概要：奈良公園の景観的な特徴を学ぶとともに、自然を活かしたアクティビティを体験します。

9:00 飛火野バス停前集合

9:10 挨拶・フィールドワークスタート、フィールドビンゴの配布 ルーペを使って観察の練習

9:15 御蓋山・春日山を遙拝 飛火野を移動

9:40 鹿苑見学

10:20 春日大社参道からささやきの小径へ

10:50 ささやきの小径でコケ等の観察

11:20 飛火野裏にて、観察、葉っぱジャンケン、

12:00 昼食時間

12:20 お気に入りの場所を見つけて過ごす

12:40 飛火野到着、フィールドビンゴの確認・振り返り

■概要報告

奈良公園、春日大社境内地である飛火野周辺を散策して、奈良公園の特徴的な自然景観について気づいたり、自然の中での遊びを体験するプログラムとした。今回は、現役の教員参加者が、お子さんを連れてきてくれたので、実際にフィールドビンゴの項目を念頭にいれつつ、フィールドワークを実施した。冒頭は、ルーペを使って、周辺の木に生えているものなどを観察した。

飛火野は、御蓋山・春日山の遙拝場所があるため、そこまで移動して風景を眺めた。飛火野の隣接地にある、サカキの献木エリアの柵の中と外の違いを確認し、なぜ風景が違うのか？などを投げかけ、シカの影響によるところが多いことを確認した。

その後、鹿苑までの間で、葉っぱや木の実などを観察したり、匂いをかぐなどをした。鹿苑では、どのようなシカが収容されているのか、といった点について整理した上で、施設見学を行い、どんぐりの給餌も行った。

鹿苑から春日大社参道に戻り、二の鳥居前で右へ曲がりささやきの小径（下の禰宜の高畑近く）でコケ等の観察。飛火野裏スペースに移動、葉っぱジャンケンの材料集めを行う。葉っぱの特徴でジャンケンを行うアクティビティ、五感を開くアクティビティなどを行った。葉っぱジャンケンは子どもが

気に入って、2回戦を実施した。

次に、周辺で自分自身の気に入った場所を見つけて一人で過ごすという時間を持った。自然の中で一人で過ごすことで、「人間が自然の一部である」ことを意識する時間とした。

ゆっくり時間を過ごして、再び飛火野に戻り終了。ふりかえりで、ビンゴカードの中央に書かれていた「今「日見つけた宝物」を共有すると、ゆったり時間を過ごした際に体験したこと、場所などが「宝物」だったと回答があった。

■写真



ロープを使って観察の練習



飛火野から若草山・御蓋山・春日山を眺める



飛火野のサカキの献木の柵の内外の違いを見学



鹿苑のシカの見学



ささやきの小径でコケや小さな自然の観察



飛火野でお気に入りの場所で時間を過ごす